

## 第 41 回自転車部OB・OG総会への会長コメント

第40回 自転車部OB・OG総会で会長を背任した早川淳一(昭和 62 年卒、平成元年院卒)と言います。入学は昭和57年であるため、大学5年、院2年と大学に7年も在籍したのが自慢です。ただ単に就職するのを躊躇った理由のみですが・・・。

今回のコロナ騒動のために、第 41 回の総会は中止することを事務局と決定しました。本文推敲中の現状では、緊急事態宣言は首都圏、北海道が未解除、その他地域では解除された状況です。勤務先の東京、居住地のさいたま市ともに特定警戒都道府県に該当し、在宅勤務で仕事をこなしている状態です。

私はゼネコンの技術関係のまとめ役として本社勤務のため、現在のところ直接的な心配はありませんが、個人事業主、観光・旅行やイベント関連、特に飲食店等の OB・OG 皆様にとっては死活問題であることが推察されます。出口が見えない中での“がんばれ”の応援もむなしく感じる場合もあります。

その理由として、2011年3月に発生した東日本大震災で私の田舎、福島県の楡葉町(第一原発から15kmで)のことを思い出すにはいられません。当時は第一原発の水素爆発により緊急避難命令が発令され、両親はさいたま市まで必死の脱出、移動を行いました。周りからは大変な目にあっただけ、頑張ってと励ましを頂きましたが、何を頑張れば良いかを模索するだけでした。両親は無事に8年後の2018年に実家に戻りようやく落ち着いた暮らしを営むことができています。

原発事故と今回のコロナ騒動とは次元が異なりますが、この影響は恐らく長期的な影響が大きいと考えられます。新しい生活様式等の模索も必要となり、失敗しながら、解決策を見出していくことしかないと思います。

暗い話題ばかりの挨拶で申しわけありません。しかし、人との会話をできる限り避けるという生活様式ではストレス疲れになってしまいます。

OB・OGの皆様においては、言葉を発することは精神的に安定をもたらすといわれておりますので、感染予防には細心の注意を払いながら、積極的に話し合い等を通じて健康を維持するよう、お過ごしください。末筆ながら、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。